

OIS

大阪府インテリア設計士協会

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14  
TEL. 06-6262-1488 FAX. 06-6262-1553

URL <http://jp-interior.or.jp/ois>  
blog <http://oisblog.exblog.jp>  
E-mail [ois@jp-interior.or.jp](mailto:ois@jp-interior.or.jp)

発行人：梅田  
編集人：田原(第3事業部長)  
スタッフ：石渡・今井・加茂・五代  
瀬部・福田・山田  
河野(第1事業部長)  
事務局：岡崎・奥田

新

新会員を迎えて

No.93

合格者名簿

< 1 級 >

守屋 一之(社会)

< 2 級 >

- 浅井 みゆき(樟蔭)
- 網代 匡訓(羽衣)
- 伊賀 千夏(羽衣)
- 植木 裕子(四天)
- 岸本 かれん(芸術)
- 来藤 澄江(社会)
- 桑山 優樹(中央)
- 橘 美千子(羽衣)
- 徳嶋 桜子(樟蔭)
- 中尾 加奈(社会)
- 中川 昌子(芸術)
- 森下 瑞稀(樟蔭)
- 森本 真以(羽衣)
- 八木 瞳(四天)
- 薮野 あやめ(樟蔭)
- 薮元 愛美(樟蔭)
- 山内 詩穂(樟蔭)
- 山本 富美(社会)
- 池島 千南美(樟蔭)
- 須崎 日向(樟蔭)
- 東 万莉子(樟蔭)

< 凡 例 >

社会=社会人  
樟蔭=大阪樟蔭女子大学  
羽衣=羽衣国際大学  
四天=四天王寺大学短期大学部  
芸術=大阪芸術大学短期大学部  
中央=中央工学校OSAKA

HASHIRIGAKI

葉知利書



新入会員に夢と希望を!

第53回インテリア設計士資格検定試験は、全国で668人が受験、436人が合格した。そのうちOISは37人の受験に対し、別掲のとおり22人の合格であり、その合格者に対する設計士証書の伝達式と新会員歓迎会が9月20日(金)に大阪難波のOCATビルで実施され、合格者のうち5人が出席した。

伝達式は4階の難波市民学習センター第2研修室で行われ、梅田会長の挨拶、設計士証書、資格登録カードと記念のラベルピンの授与に続き、OISの活動内容を、分かりやすくまとめた10分余りの映像で紹介されたあと、出席した会長以下の役員が紹介され、同ビル5階のレストラン「スーパードライ」に席を移し歓迎会が実施された。

歓迎会では新入会員やその学校の先生方と理事・役員との間に楽しい会話がかわされたが、時間は瞬間に経過し、惜しまれながら散会となった。

出席された合格者の方には、OISが実施する催しへの参加を呼びかけたが、何等かの都合で出席できなかった方々も、今後送られてくる催事の案内には必ず目を通し、積極的に参加するようお願いすると同時に、我々としては、新入会員に夢と希望を与える努力が必要である。(記・事務局)



会話が弾む「歓迎会」の様子

伝達式に参加して

一人前になるための努力を

中央工学校OSAKA建築CGデザイン科1年で、今回の検定試験に合格し、伝達式・歓迎会に参加させていただきました。

伝達式では、賞状と会員バッジを頂いた後、OIS紹介ビデオを観ました。受験を勧めてくださった先生も映っており楽しそうな雰囲気でした。また、歓迎会では、個室での豪華な食事とピッチャービール。入会したばかりで、何を話



歓迎会で自己紹介する桑山くん

いただけました。ワイワイと楽しい会話で、時間が過ぎるのを早く感じる会でした。

終了後は、今度開催される「事遊展」に出品する作品を先生と相談しながら駅へ向かい、現在試作中です。私は学生になる前は、家業である瓦葺き職人として働いていましたので、「事遊展」に出展する作品も瓦を使っています。

OISでは「事遊展」のほか、見学会や青年部のDesigner's Barなど、多くの行事が開催されていますので、時間を作って参加しようと思っています。

インテリアは身近でありながら、インテリア業界はまだまだ遠い存在の現在ですが、もっと身近にするために、CGや手書きパースによるイメージ作りを当たり前のように出来るよう、資格取得を機に一層努力したいと思っています。

(記・桑山 優樹)

青年部企画  
**Designer's Bar**  
 OIS

16th  
 2013. 6. 14

17th  
 2013. 10. 4

友人を誘って・・・

昨年、第52回の検定試験に合格し、現在も中央工学校OSAKAで建築を学びながら就職活動をしている状況ですが、コラムデザインセンターで行われました「たこ焼き」がテーマの第16回 Designer's Barに参加しました。

OISのイベントに、いつかクラスメイトを誘いたいと思っていたので、気兼ねなくワイワイ楽しめそうなこのイベントを選んで初めて友達を誘っていきました。

僕自身、会員経歴が短いので、まだお話をさせていただいた方が少なく、友達を紹介して楽しませられるか不安でしたが、いつものように会員の皆さんが親切にしてくださったおかげで、僕も友達もすごくリラックスして楽しむことができました。



みんなで“たこ焼き”

人として働く同世代の人との交流がもてる集まりはすごく貴重な場だと思います。それに加え、青年部のおもしろい企画により、とても有意義な時間を過ごさせていただいています。

僕自身、これから社会に出ていく身として、ここで受けた刺激をバネに就職活動に励んでいきたいと思っています。

(記・梅岡 拓矢)



青年部・瀬部顧問(左)と広畑部長

この日はほかにも同世代の人が参加しておられ、そのうちのひとりの女性は、設計会社で勤務歴2年目にもかかわらず設計を担当しておられ、社会に出てやりたいことを実現している同世代の人と交流が持てたことがとてもいい刺激になりました。

学校だけではなかなか出会えない同業界の年上の方や、社会



食べてみて！ 我が家の“味”

Designer's Barの参加者は増えたり減ったり、担当の青年部は気をもんでいるが、今回は21人とまずまずの成績。嬉しかったのは、今年検定に合格した新人や若い人の顔がチラホラ、努力の花が咲き始めたようだ。

テーマの「我が家の“味”」提供者は9人、参加者の約半数の人たちが協力して下さったが、それぞれの「家庭の味」を醸し出していた。中でも力作は、賛助会員アサカ硝子・中島社長のお嬢さんの料理&スイーツ、見た目も味も特筆に値する。

今回はミニセミナーもゲームもなく、最初は2~3人のグループによる部分的な盛り上がり傾であったが、前述のとおり新人の参加があったので「自己紹介」を開始、それ以降、中盤から終盤にかけては、全体的な盛り上がりを見せ、Designer's Barの役割を十二分に果たせたと思う。

もう一つ、案内にはなかったイベントとして、参加者の皆さんにペインティングしてもらったペットボトルにローソクを灯した“あかり”による雰囲気作りは、なかなかイイカンジであった。唐突であったが、ライティング作品のうち3つを選び「金=太田・銀=小長谷・銅=鷲岳」賞を決め、次回Barで賞品が授与されるといふサプライズで締めくくった。

(記・奥田 忠彦)



我が家の“味”を紹介する広畑青年部部長



**ビアパーティー万歳！ OIS万歳！**

8月3日(土)の暑い夏の夜、毎年恒例のビアパーティーへ！

特に暑いと感じた今年の夏、涼しい部屋でくつろぐのも良いものですが、「暑いときは暑い屋外で冷たいビール」というのは格別美味しいものです。ビアパーティーが開かれたお店は昨年同様、中之島公園・



日も暮れて、宴たけなわ！

ローズガーデンにある“R・RIVERSIDE GRILL & BEER GARDEN”です。川沿いにあり、イルミネーションが見えたり心地よい風が吹くテラス席でした。

枝豆、サラダに続いて出てきた韓国風焼肉“サムギョプサル”はビールにぴったり、食事もビールもすすみ、個性豊かな方々と楽しいおしゃべりをしていると、あっという間に時間がたっていました。

昨年に比べ、少し参加者が減ったかな？という印象でしたが、常に笑いが耐えない楽しいパーティーでした。

私は学生3名と一緒に参加したのですが、初めて参加した学生も楽しんでいました。そんな初めての人も暖かく受け入れてくれる協会のみなさまに感謝！

そして毎度ながら、同年代が少なく寂し



薄暮状態の中、開宴の挨拶～乾杯の河野副会長

い思いをしております。すごく楽しい協会であり、勉強になる話もたくさん聞けます。ぜひ、私同様の若い皆さんも気軽に参加して下さいね！

次の会も楽しみにしています。

(記・鷲岳 夏希)



# 銀座5丁目「改造社ビル」

渡辺 廣史

改造社は大正8年に山本実彦氏により創業し、昭和中期まで活動した出版社で、社会的に大きな影響を与えたとあります。

第2大戦中に軍部の圧力で解散させられ、大戦後に再建しましたが軌道に乗らず、現在は関東地区に数店舗を持つ書店として活動しています。

さて肝心のビルの説明です。何とも左右

のお顔が違うジキルとハイドのような表情、しかし良く見ると全体の骨格は同じ、でも表情が違う???

昭和初期に建てられた時点では、全体が左側の煉瓦タイル張りで装飾もあるモダンなデザインでしたが、経年変化によるタイル・装飾の剥落を恐れて、持ち主が右半分をはぎ取って地肌丸見えの状態にしてしまったと聞きます。

最上階の斜めの部分には、20年前までは瓦も乗せられており、当時のモダンさが想像できます。

平面的には階段室を中央に、左右にオフィススペースが配置され、現在は左半分を改造社書店、右半分の1・2階に中華食堂日高屋が入っていますが、古いビルのため耐震的に存続は危ういものがあります。建物は銀座の昭和通りと晴



海通りの交差点にあります。機会がありましたら是非見てください。



## 好きなんです、大阪。

高尾 千寿

### 大阪を感じるのはココらへん。

たとえば、私の場合…JR大阪駅東口バスターミナルから阪神百貨店側の地下に降りる階段です。そう…降りたところに立ち飲み

の串揚げ・串かつの「松葉」がある階段です。大阪人は歩くのが早いし、無駄な動きがない。きっちり左側通行でちゃっちゃか上り降りしている様子が気持ちいいんです。特に好きなのは夜の混雑する時間帯です。ぶつからないよう一人ひとりが、都会のモラルを胸に抱いて…と言えば大袈裟ですけど…

串かつの匂い。暖簾に半分隠れたおっちゃんの後ろ姿。あ～大阪やな～と思います。こんな狭い階段をラッシュ時に使うとなれば、ややこしいことこの上ないのです。ましてや店先の混雑が暖簾ひとつでは



はつきり分けられて機能的。大阪美だと思ふのです。

気を張らない、ちょっとグダグダ。だけど、なんと

く…いつの間にか…決まってることを皆が共有している連帯感みたいなものが感じられて好きなんです。

### びっくりした！

家を覆いつくす緑の物体はなんと、朝顔なんです！冬まじかの寒空に?!驚きですが本当に朝顔なんです。渦状に電線に巻きついて、大きな、立派な、生命体！って感じです。

隣の3階の壁まで襲いかかろうとしている緑のかたまりは、青紫の大輪の花を幾つもつけて、とってもBeautiful!

名前が知りたくて家主さんに尋ねたところ、琉球朝顔、別名オーシャンブルー



とあって「これで7年めなんですよー。12月まで咲くんですよー。」なのだそう。2階の窓は森状態になっていて、色々な鳥が羽を休めにくるとか…

場所は天神橋の北詰を西に曲がってすぐです。興味とヒマのある方は、どうぞご覧あれ。



### 事務局のコーナー

OISも運営団体として加盟しているUSD-0(大阪デザイン団体連合)では、毎月1回のペースで“Osaka Designers Salon”をグランフロント大阪北館7階のナレッジサロンで開催しています。私が参加した第6回のサロンでは、前半「バードハウス展・出展説明会」、後半は「動画で観るミラノサローネ」と題し、(株)大彌リビング(OIS賛助会員)能口社長の話でした。

世界最大級のデザインイベント「ミラノサローネ」を、本人がビデオカメラで撮影した動画を観ながら面白トークを交え、約1時間半にわたっての解説でした。展示会場だけではなく、町の様子もわかる内容で、行ったことがない私も見学しているような気分を味わえました。

現在、このサロンなどUSD-0情報はメールアドレスを登録している人におのみ送っておりますので、未登録で希望者は、パソコンやスマートフォンからアドレスを送って下さい。(岡崎)



### 賛助会員

現在、賛助会員として5社がOISの事業を応援してくださっています。  
 今回はその中の1社、住まいの窓やドア、ビルのファサードなどのメーカー「YKK AP」の新ショールームと、溶接不用の新技术を紹介し、是非一度、ショールームをご覧ください。

コーナー

## 2013年11月5日オープン

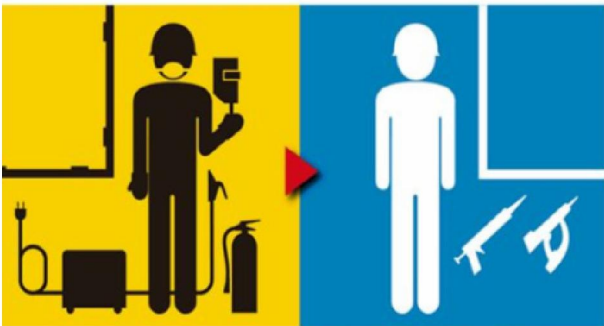


## YKK AP P-STAGE - 大阪

所在地 大阪市中央区久太郎町2-5-28  
 久太郎町恒和ビル1階  
 開館時間 10:00~17:00  
 休館日 土曜日・日曜日・祝日  
 夏季休館日・年末年始休館日あり。  
 お問い合わせ TEL.06-6944-8767  
 駐車場はございませんので、電車等でお越しください。

### RC造建築におけるサッシ施工の

### いままでの常識 これからの常識



### 非溶接工法

高強度樹脂接合方式

## 年末 → 年始

### スケジュール

既に案内済・募集中のものやこれから案内の催しもあります。

- ★10月27日(日)：陶芸教室+アウトドアパーティー 於・丹波「丹文窯」
- ★11月2日(木)~日4(土)：事遊展 於・OCAT 4階 セミナー展示室
- ★11月15日(金)18:30~：ちょっとMANA-BOZE「知っておきたいテーブルコーディネート」  
於・コラムデザインセンター 1階教室
- ★11月27日(水)13:00~：清水寺(奥の院・阿弥陀堂・他)修理工事および西陣織の細尾見学会
- ★12月6日(金)18:30~：忘年会 場所・未定
- ★12月10日(火)18:30~：篆刻教室 於・コラムデザインセンター 1階教室
- ★1月5日(日)15:30~(予定)：新年会 於・お初天神+がんこ

## 丸前角向って?

吉矢 詳子

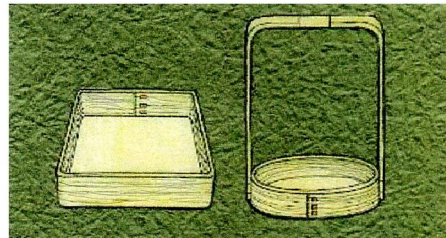
ずいぶん昔のことです。学生時代から大学の近くの西宮北口で茶道を習っていました。御師匠さんは船場の御寮人さん(ごりょんさん)で、谷崎潤一郎の世界のようなお宅でしたが、阪神大震災の時1階でお休みになっておられましたので、重い瓦の下敷きになって亡くなられました。その後2か月ほどしてお宅を訪れてみますと、すっかり更地になっていましたが、なぜか蔵と石燈籠とつくばいだけが倒れず、しっかり残っていました。



御師匠さんには、伝えていきたい日本のしきたりや伝統、歳時など色々教わりました。

その一つに、「器には正面がある」ということがあります。絵付けのある場合、絵に従って正面が決まります。

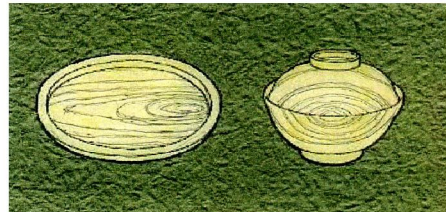
綴じ目や継ぎ目がある器は、丸い物は綴じ目が前、四角い物は綴じ目が後ろになります。そのことを「丸前角向」(まるまえかくむこう)というのです。



木目も器の向きを判断する材料の一つになります。柾目の場合、自分から見て「木目が横に走る」ように置きます。そして、木目の細かい方が前、粗い方が向こう側です。波打ち際に立って、手前から向こうに波紋が広がるように置くのです。

年輪があるものは「中心に近い方(目の詰まった方)を右側に、年輪の外側が左側になる」ように置くと手前側が器の正面になります。

神仏にお供えするときは、神仏の方が上座正面になりますので、前後が逆になります。お正月の鏡餅や、お月見の時に使う三宝などがそうです。



まともな器であれば、これらの約束事を踏まえて作られています。元をたどっていきますと、「丸が天を表して陽、角が地を表して陰」という陰陽五行説の思想が絡んできています。

今の時代になって、こんな堅苦しいことをと思われるでしょうけれど、カタログなどの印刷物に間違えた置き方で載せると、必ずクレームが来ますので、ご注意ください。

ここでは「和」の様式やしきたりについて述べましたが、来る11月15日に行われます「ちょっとMANA-BOZE」では、洋式のテーブルコーディネートの基本や約束事、手順やナプキンの折り方などについて、皆さんと共に学びたいと思いますので、ぜひご参加ください。